

樟葉駅前広場の環境整備について

土木政策課

1. 政策等の背景・目的及び効果

樟葉駅周辺は、「枚方市都市計画マスタープラン」において「広域拠点」に相応しい魅力ある都市環境の形成に向けた拠点性の強化や、「枚方市総合交通計画」においては、主要戦略施策として「駅周辺の回遊性と賑わい、愛着がもてる交通環境整備」が求められています。

樟葉駅前広場においては、平成26年（2014年）のくずはモールリニューアルオープンを機に、ロータリーの交通混雑解消や広場の交流機能・景観機能の強化に向けた検討を進めてきました。

令和3年度（2021年度）には、ロータリーの形状やタクシー乗り場の位置変更、バス乗降場の形状等の改良を目的とした整備工事を完了し、ロータリー内の交通混雑解消や安全性確保など、一定の課題解消が図られました。

今後、残る課題である賑わいとゆとりある駅前空間の形成、公共交通利用環境の改善、及び「枚方市みどりの基本計画」にある駅前広場の植栽充実を図るため、令和4年（2022年）12月に実施した「樟葉駅前広場の環境整備」についての市民アンケートの結果と、結果を踏まえた整備方針等を取りまとめましたので報告するものです。

2. 内容

- ・ 樟葉駅前広場の環境整備について（資料1）

3. 実施時期等

令和5年（2023年）	2月	建設環境委員協議会へ報告（整備方針等）
	3月	市民アンケート結果の公表・整備方針の決定
令和5年度（2023年度）～		環境整備工事（令和5年度（2023年度）実施） 賑わい創出に向けたソフト施策の検討

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画	基本目標	安全で、利便性の高いまち
	施策目標4	安全で快適な交通環境が整うまち



5. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 90,000千円

支出内訳 環境整備に係る工事費

《財 源》 大阪府都市緑化を活用した猛暑対策事業補助金：90,000千円

樟葉駅前広場の環境整備について

●樟葉駅周辺について（行政計画）

■枚方市都市計画マスタープラン（令和4年3月）

樟葉駅周辺は人が集い交流し、地域の生活・文化情報の拠点として地域に活気をもたらし続けるような魅力ある都市環境を形成していくことが求められる。

◆樟葉駅前の交通機能強化

- ・賑わいとゆとりある駅前空間の形成

■枚方市総合交通計画（平成30年12月）

①持続可能な公共交通の実現

- ・バス路線の確保・維持・改善（公共交通の利用促進）
- ・公共交通のサービス向上（公共交通利用環境の改善）

②交通が与える環境負荷の低減

- ・環境に配慮した都市の構造（保水性舗装と緑化の推進）

③賑わいあふれる駅前空間の構築

- ・駅周辺の回遊性と賑わい、愛着がもてる交通環境整備（ゆとりある駅前空間の創出）

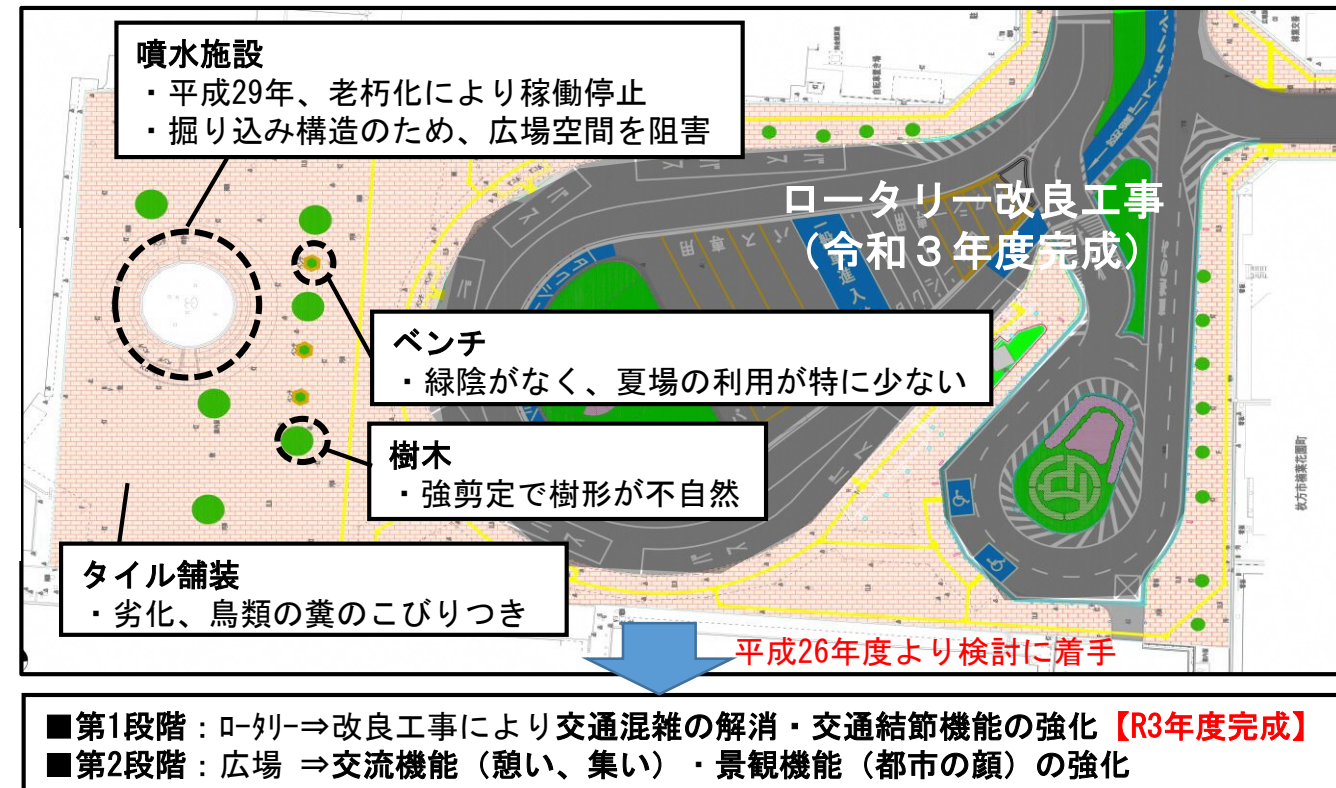
■枚方市みどりの基本計画（平成28年3月）

市街地の魅力を向上させるため、地域特性に応じてまちなかの緑化を促進し、市民がみどりとふれあう機会を増やす。

◆ゆとりを感じる緑化空間の形成促進

- ・駅前広場の植栽充実

●現状と課題



残る課題解決に向けた取り組み → 環境整備を実施（第2段階へ移行）

■整備コンセプト（枚方市都市計画マスタープラン、枚方市総合交通計画、枚方市みどりの基本計画）

- ①魅力ある都市環境の形成 ②公共交通の利用環境の改善 ③駅前広場の植栽充実 ④賑わいあふれる駅前空間の構築

公民連携

■枚方市と京阪ホールディングス(株)による「持続可能な地域社会の実現に向けた包括連携協定」(R4.5締結)

緊密に連携し相互に協力することにより、脱炭素の推進やSDGsの達成、定住人口及び交流人口の拡大を図り、持続的な地域社会を実現することを目的

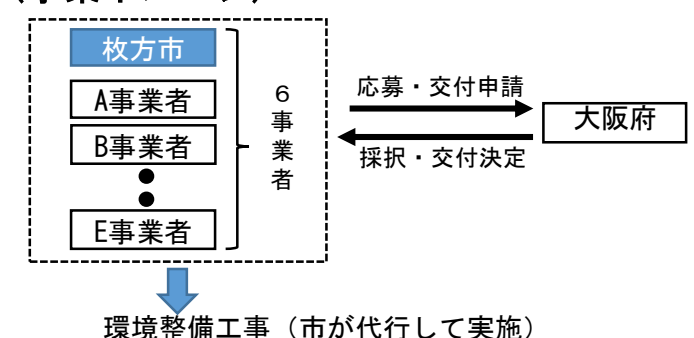
- 公共交通機関の利用促進に関すること
- 安全安心で魅力ある地域づくりに関すること

府連携

■大阪府都市緑化を活用した猛暑対策事業

- ・事業概要：森林環境税を財源とする補助金交付事業【大阪府】
- ・助成内容：実施事業者を公募の上選定し、以下の補助金を助成
⇒1事業箇所あたりの1事業者への補助金 **補助対象経費の1分の1（上限1,500万円）×事業者数**
- ・助成期間：令和2年度～令和5年度（4年間） ※同一年度に一連の設計・施工が条件
- ・助成対象：バス停やタクシー乗り場のある駅前広場等で、市町村やバス事業者、駅前ビル所有者などを対象に、涼しさを感じる区間を形成するものに支援。**※緑化必須**
- ・補助対象内容：緑化（壁面含む）（必須）、保水性ブロック、遮熱性の日よけの設置、遮熱性舗装、微細ミスト発生装置の設置 など

(事業イメージ)



ニーズ

■市民アンケート等

- ・内容：樟葉駅前広場の普段感じていることや改善点など
- ・周知方法：ホームページ、SNSへの掲載など
- ・実施方法：ホームページによる入力フォーム
- ・募集期間：令和4年12月6日から26日まで
- ・結果公表：令和5年3月予定

整備方針の決定

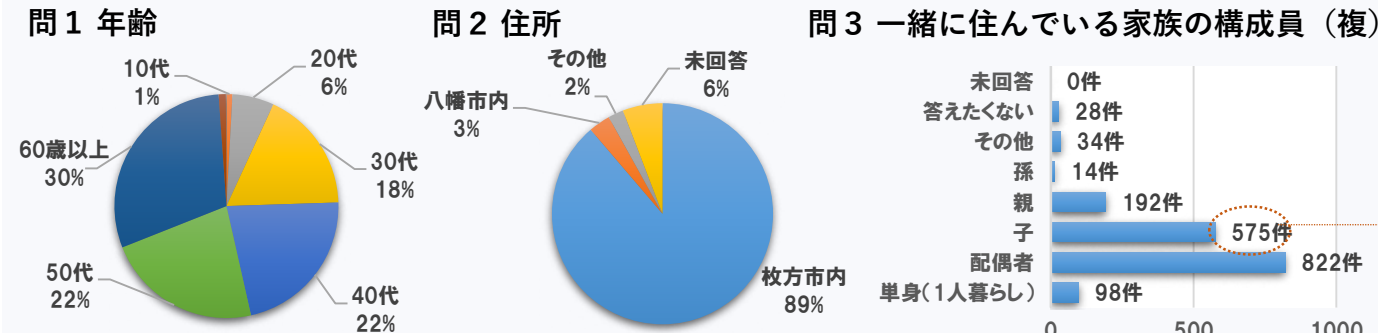
樟葉駅前広場の環境整備について

●市民アンケート結果（全回答者数1,164人）

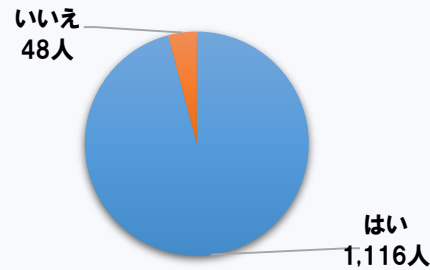
① 回答者の属性

複：複数回答

・60歳以上の方が約3割を占め、続いて30代・40代・50代の方がそれぞれ約2割ずつを占めた。また「配偶者と同居」「子と同居」世帯からの回答が多く、「単身」世帯などの方からも一定回答を得られるなど幅広い年代の方から回答があった。

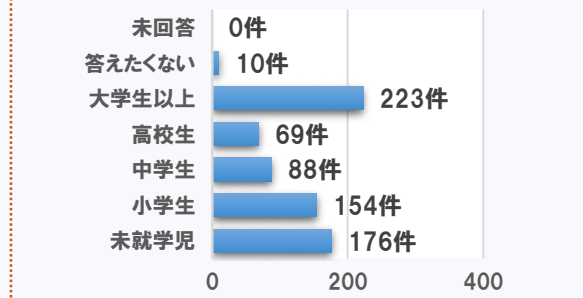


問4 樟葉駅前広場を利用（経由）したことはありますか



問3-1 子どもの就学状況について（複）

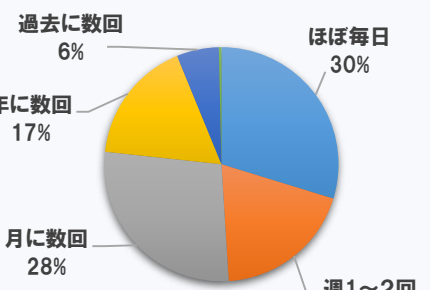
※問3で「子」と回答した方のみ



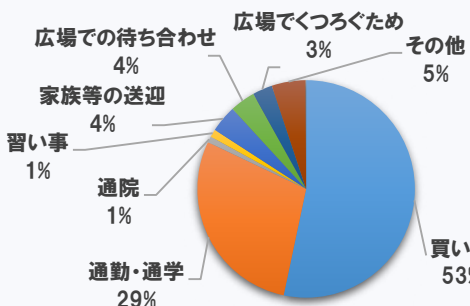
② 樟葉駅前広場の利用状況（問4で「はい」と回答した方のみ）（「広場」＝「樟葉駅前広場」）

・「月に数回」以上広場を利用（経由）する方が約7割を占め、多くの方に普段利用頂いている。
・目的地までの移動手段として「徒歩」に次いで「公共交通機関（電車やバス）」の利用が高い。

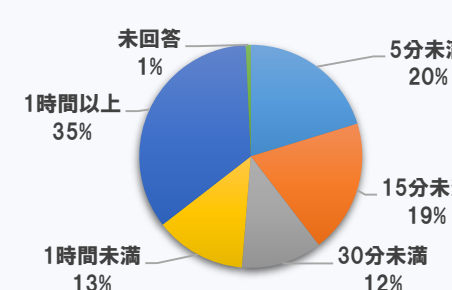
問5 広場を利用（経由）する頻度



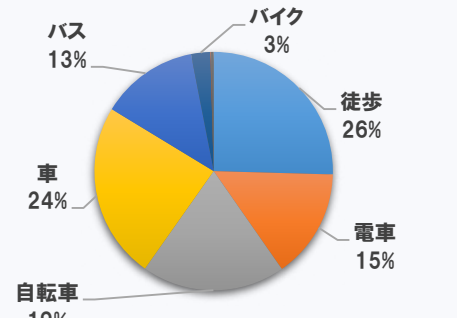
問6 広場を利用する主な目的



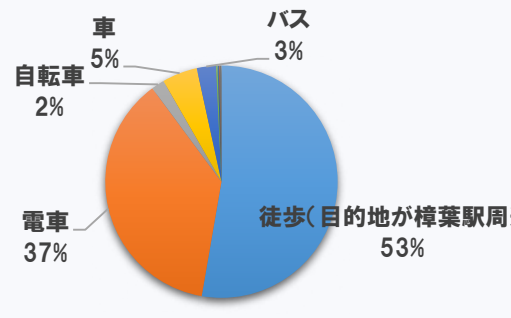
問8 樟葉駅周辺に滞在する時間



問7 「自宅から広場まで」の主な移動手段

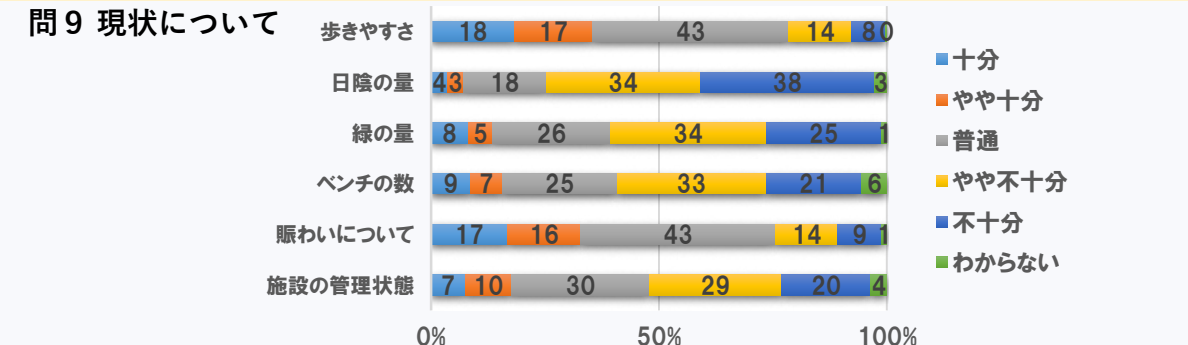


問7-1 「広場から目的地まで」の主な移動手段



③ 樟葉駅前広場の現状について（問4で「はい」と回答した方のみ）

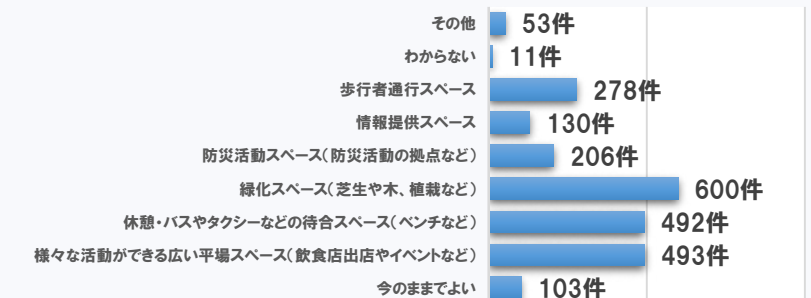
・「日陰の量」は約7割の方が「不満」に感じている（現状：バス停の上屋のみ）
・「緑の量」は約6割の方が「不満」に感じている（現状：ムクドリ対策として高木の強剪定実施）
・「ベンチの数」は約6割の方が「不満」に感じている（現状：ベンチの老朽化が進行）
・「賑わい」について約3割の方が「満足」と感じている（現状：実証実験としてイベント開催）
→広場における日陰・緑・ベンチの充実が必要



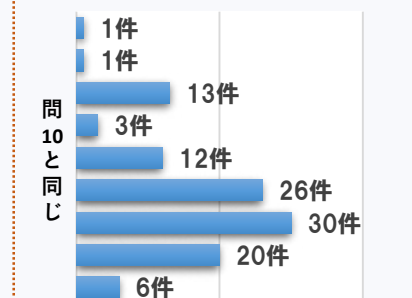
④ 樟葉駅前広場の今後について（問4で「はい」と回答した方のみ）

・必要なスペースで「緑化」「待合」「広い平場」を求める声が多い
→広場において、緑化・待合・広い平場スペースの確保が必要
・欲しい施設で「日陰・日除」「ベンチ」「木や植栽」「芝生広場」を望む声が多い（時計は既設）
→広場において、日陰・日除、ベンチ、木や植栽、芝生広場が必要（問9と同様）

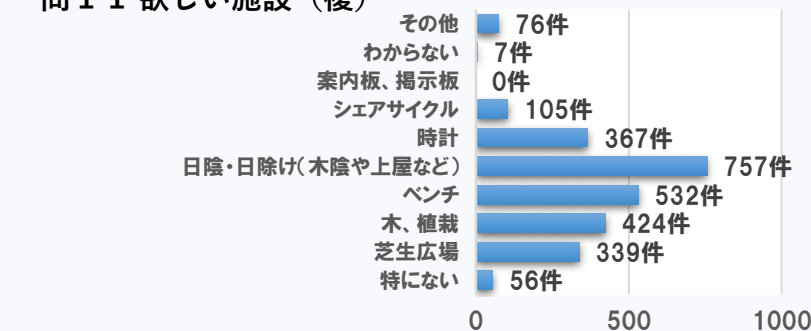
問10 必要だと思うスペース（複）



問4で「いいえ」回答した方で「よく利用(経由)する駅前広場に必要だと思うスペース(複)」



問11 欲しい施設（複）



●主な自由意見（抜粋）

鳩やムクドリ
・鳩のフンが気になる、糞が多く汚い。
日陰
・日陰が少ない。
緑化（木・植栽、芝生広場）
・ムクドリ等の鳥糞がひどかったため、高木はいらない。
・芝生があれば明るい雰囲気になる。
・鳥が増えないような木がほしい。
・てんしぼのような子供が遊べる広場にしてほしい。
噴水
・もう動かさないなら撤去すべき。
・夏はもっと噴水をして欲しい。
・噴水周りにゴキブリが沢山。

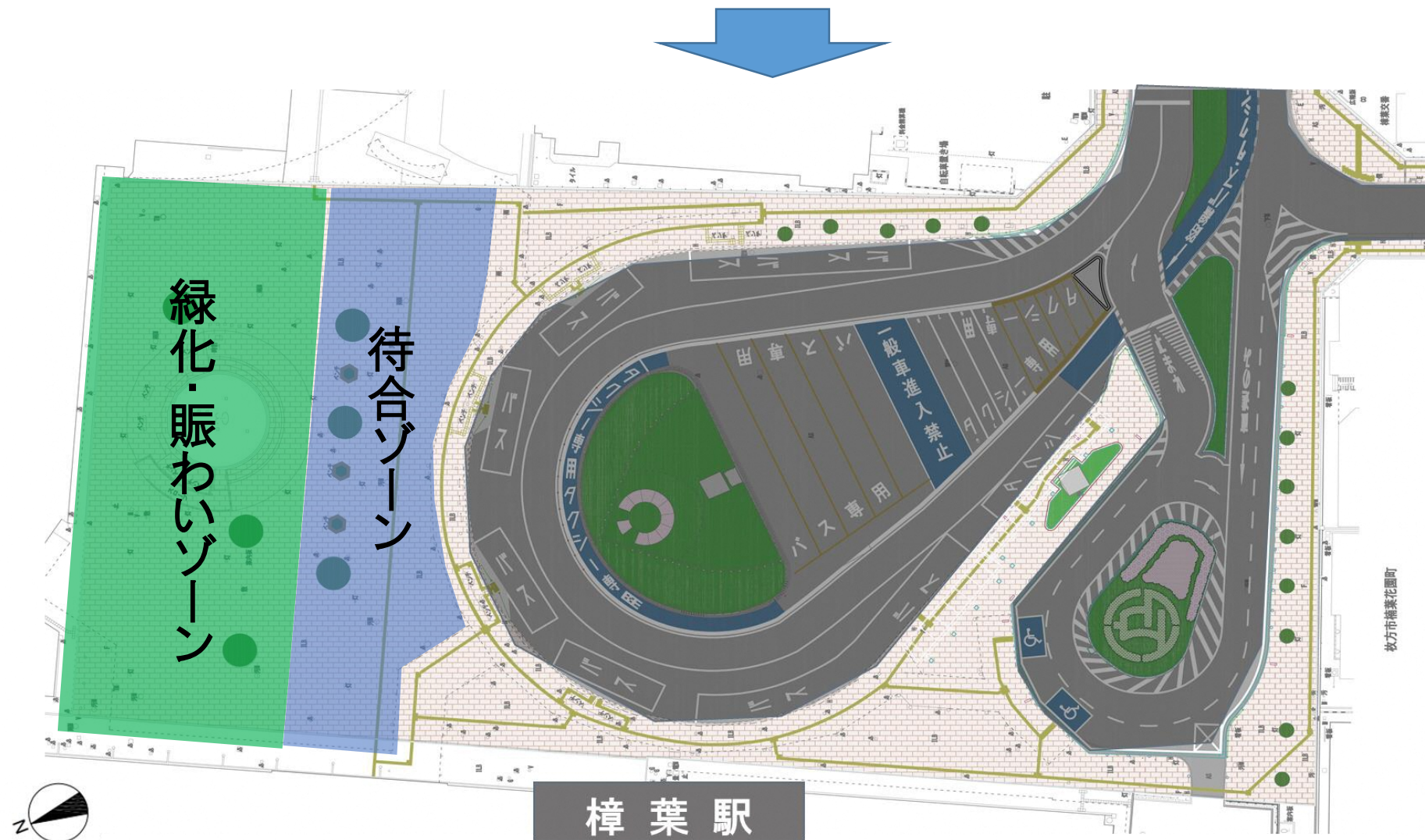
樟葉駅前広場の環境整備について

●整備方針

市 整備コンセプト	市民ニーズ(アンケート結果より)		
	スペース	主な整備内容	
魅力ある都市環境の形成	公共交通の利用環境の改善	待合スペース	上屋(日除)、ベンチ
	駅前広場の植栽充実	緑化	中低木(ベンチ付) ※ムクドリ対策として樹種変更
	賑わいあふれる駅前空間の構築	広い平場スペース	芝生広場

待合ゾーン

緑化・賑わいゾーン



樟葉駅前広場の環境整備について

●整備イメージ

※現段階での整備イメージであり、今後具体化を図ります

